

2024 年 5 月 16 日

これまでに僧帽弁輪依存性心房頻拍と左房前壁の局所リエントリー性心房頻拍の合併に対してカテーテルアブレーション法を受けられた患者様へ

当院では、僧帽弁輪依存性心房頻拍と左房前壁の局所リエントリー性心房頻拍の合併例について臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものですが、この案内をお読みになりご自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」と思いになりましたら、遠慮なく下記録の担当者までご連絡をください。

【対象となる方】

2018 年 1 月から 2023 年 12 月までに、当院にて僧帽弁輪依存性心房頻拍と左房前壁の局所リエントリー性心房頻拍の合併に対してカテーテルアブレーションを施行された方

【研究課題名】

僧帽弁輪依存性心房頻拍と左房前壁の局所リエントリー性心房頻拍の合併例に対するカテーテルアブレーション法の検討

【研究責任者】

群馬県立心臓血管センター循環器内科 吉村 真吾

【研究の目的】

心房細動に対してのカテーテルアブレーション後に心房頻拍や心房粗動が発生することがあります。その中に、稀に僧帽弁輪依存性心房頻拍と左房前壁の局所リエントリー性心房頻拍を合併することがあります。これの不整脈に対しての有効な治療方法はいまだ確立していません。

今回の研究では、僧帽弁輪依存性心房頻拍と左房前壁の局所リエントリー性心房頻拍の合併に対してカテーテルアブレーションを行った患者様を検討し、その治療方法を講じていきたいと思っています。

【利用するカルテ情報・資料】

診療録、年齢、性別、身長、体重、術前に施行された各種検査結果（採血、心電図、心エコー図検査、CT・MRI 検査など）、カテーテルアブレーションの手術記録、術後の外来での経過の記録などを使用いたします。

【個人情報の取り扱い】

登録されたデータは、お名前、住所などの個人を特定できるような状態で使用することはありません。研究の成果を学会や学術雑誌に公表する場合は、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問い合わせ】

群馬県立心臓血管センター 循環器内科
担当医師 吉村 真吾 027-269-7455 (代表)